しかし八幡市でも要望

実施。

また介護予防と

木津川対岸への無料橋整備は



城陽絆の会 吉文

大西

常気象に左右されない

問

問

市内10

小学校の

際の早期の立退き避難

うち6校が洪水の

が不可欠だが、見解は。 開発に伴い無料橋整備 産業発展の妨げになっ に架かる永久橋がなく 外に木津川 サンフォルテ城 市には有料道路 東部丘陵地の 対岸 市の農業政策の方針は、

ている。

期に整備する状況にな いと回答されている。 きな渋滞が見られず早 たが、周辺橋梁等に大 要と認識しており、こ 業団地等を結ぶことに 地と対岸の八幡市の工 らに動き出す東部丘陵 れまで府に要望してき 強化、地域間交流が必 アウトレット、今後さ よる地域経済や産業の 陽やプレミアム・ りサポートしていく。

引き続き国や府に要望 しているところであり、 したいと考えている。 も進むであろう異 コロナ禍や今後

管理、大学等と連携し たブランド化や疫病等 ICT活用による栽培 流通センター建設 需給調整可能な

城陽農業の強みである られてきたが、さらに 今後も農業者をしっか の研究などで対応が図 次産業化・農商工連携 販売を視野に入れた6 となる。そのため通年 かしていくことが重要 スチャンスを確実に生 生まれる大きなビジネ 後のまちづくりに伴い 京阪神の大消費地に近 ブランを策定しており、 い地理的優位性や、今

高齢者向け健康事業の拡大は



公明党議員団

ポイント付与を高齢者 齢者元気サポーター応 ポイントを付与する高 う高齢者に換金可能な る。一方、広島市では 援事業に取り組んでい ボランティア活動を行 度から、介護施設等で 自身の健康づくりの取 目的に、市は平成26年 命の維持・促進を 高齢者の健康 寿 点から、庁内連携会議

り組みや地域でのボラ 健康マイレージ事業を ている。 施し、一定効果を上げ 活動ポイント事業を実 広げた高齢者いきいき ンティア活動参加まで イントを付与する 市では他にもポ 導入の考えは。

洪水に備えた避難所は

増田 貴 を行っている。 実施には、さらに効果 のような包括的な事業 検証や手法の検討も必 てゴリゴリ元気体操 健康増進という視

日本共産党議員団

良倫

シルバー人材センター に紹介してはどうか。 と業務提携し、所有者 ズナブルに依頼できる や伐採、除草等をリー くするため、樹木剪定 で議論はしていきたい。 持管理を進めやす 放置空き家の維

らせが可能かについて ター利用に関するお知 えてシルバー人材セン 覧も添付している。 は協議・検討したい。 動産業者と造園業者 おり、その中に市内不 を伝え適正管理を呼び かける文書を送付して 有者等に苦情内容 これまでから所 加

> は。 だが、北部コミセン3 くに垂直避難できる場 対応の施設にする考え 保育園跡地を洪水防災 階、古川および寺田 所を順次増やしていく ちのために、 よう方針を変えるべき 住宅地近

西

それぞれ避難する訓練 学校へ、2年度に富野 訓練が実施された小学 るが、この区域におい の避難場所となってい 地震や火災等の災害時 区域にあり、6校とも 校区が南城陽中学校へ ける洪水想定訓練の延 校区は。また市域にお て洪水を想定した防災 川校区が久津川小 令和元年度に古 答 るほか、他の場所への 設も考えていない。明 避難タワー等の施設建 の危険を伴うことから 移動が極めて困難で命 手が届かない恐れがあ 水時に孤立して支援の 垂直避難については洪 に指定する考えはない。 定緊急避難場所を新た その区域内に洪水の指 にあるため、市として の立退き避難区域 3カ所とも早期

ベ実施回数は。

自主避難が困難な人た 木津川決壊に備 市の東部まで 延べ るいうちに安全な場所 段と考えている。 が最も安全で賢明な手 ヘ早期に避難すること

2回となる。 を実施しており、